

部活動の地域移行をどう進めるか

学校、教育委員会、地域連携で支える

議員 中学校の部活動を地域に委ねる地域移行は、学校、地域、家庭などが関わる課題であり、進めていくには多くの困難があると認識している。このような状況の中で、どのような総合的施策を講じていくのか。

のもと、地域の活動の場に展開していくことがより可能になる。

議員 明治期に始まり、長年続いてきた日本の部活動について、地域移行によりその在り方が大きく変わろうとしている。部活動の地域移行が完結するまでの間、どのように取り組んでいくのか。また、新たな専門セクションが必要になるのではないか。

り組むこととしている。専門セクションは、業務を一元化し、集中的に取り組む点において有効であると考えている。

議員 地域移行に対応する指導者は、どのような資質の捉え方を持って選任されるのか。

市民生活部長 地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校運動部活動において、安全、安心で基礎的なスポーツ指導者や運営に当たる方のための資格である、スポーツコーチングリーダーを取得してもらうほか、競技別指導者資格として、コ

教育長 次年度は部活動の拠点校方式を取り入れる。自校にやりたい部活動の種目がない場合、その種目の拠点校になっている学校の部活動に加入できる仕組み。次年度は4つの競技で拠点校を実施、拠点校に一定程度集まってきた生徒達を保護者や指導者の協力

議員 地域移行に対応する指導者は、どのような資質の捉え方を持って選任されるのか。

1次の段階において各種資格を有することが求められるとされている。加えて釜石市における部活動の在り方に関する方針にのっとり、適正な活動時間及び休養日の設定やハラスメントの防止や体罰の根絶、熱中症等の事故防止について正しく理解した指導者が求め

られる。最も重要なのは勝ち負けや技術的な指導のみに偏らず、自他に対する思いやり、文化やスポーツを生涯を通じて楽しむこと、そうした豊かな人間性を育むことを大切にする資質であると考えている。



令和8年度は4つの競技で拠点校を実施

部活動の地域移行：学校の部活動を学校だけでなく、地域のクラブや指導者が担う仕組み。教員の負担を減らしながら、子どもたちがスポーツや文化活動を続けられるようにする取組。

拠点校方式：複数の学校の生徒が一つの学校に集まり、合同で部活動を行う仕組み。人数が少ない学校でも活動を続けられるようにするための方法。



古川 愛明

(創政会)



議員のこちら
古川愛明の動画

質問項目

- ・教育行政について
- ・産業振興行政について